



◆2022-2023年度 主題◆

国際会長	ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)	「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長	シェン・チ・ミン (台湾)	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
東日本区理事	佐藤 重良 甲府21	「未来に向けて今すぐ行動しよう」
あずさ部部长	後藤 明久(富士五湖)	「ワイズへの参加と交流を楽しもう」
甲府21クラブ会長	廣瀬 健	「目標を決断し実行する」 Go for it!

甲府21ワイズメンズクラブ  
2023年 4月会報

今月の強調テーマ

W4W、RBM

【今月の聖句】

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。(ヨハネによる福音書 15章5節) 【選者 松村 豪夫】

〈4月例会プログラム〉

- 日時：2023年4月4日(火) 19:00 開会  
会場 山梨YMCA グローバルコミュニティセンター  
司会 鎌田ワイズ 会場準備：EMC 委員
1. 開会点鐘
  2. ワイズソング
  3. ワイズの信条
  4. 今月の聖句 松村豪夫 ワイズ
  5. 会長あいさつ-ゲスト紹介 飯田剛 会長
  6. ハッピーバースデー
  7. 東日本区大会について
  8. チャリティーランについて
  9. ワイズディナー
  10. ゲスト卓話 卓話者：窪田 洋二様  
題名：「脱炭素社会を考える(仮)」
  11. ハッピーバースデー
  12. 諸報告 第2例会案内 4/18 ベビーカー最終準備など
  13. YMCA の歌
  14. 閉会点鐘

4月巻頭言

会長 飯田 剛

今年に入り、クラブとして悲しい出来事を経験しましたが、前進しなければなりません。直後の、2月4日に、神戸の、「東西日本区交流会」・3月10日に台湾での、「100周年記念祝賀会」と、たて続けに参加させていただきました。どちらも、ワイズメンズクラブの“社会に対する、貢献をしよう”とする、世界中の、メンバーの熱い情熱を肌で感じてきました。改めてこのワイズメンズクラブの役割を認識したものです。本当に皆様が、真剣に、対峙している姿を目の当たりにしてきました。

さて次は、あと2ヶ月後に迫りました、この大きな流れを汲み、次に伝えるための大きなイベントである、「東日本区大会」を、我が甲府21ワイズメンズクラブが実施する、「意味」と、「誇り」を、この2つの大会に参加したことで、より一層自覚致しました。

6月の大会では、我々の思いが参加者に伝わるように、したいですね。全メンバー、いわんや実行委員会の皆様の、ご多忙中かつ貴重な時間を裂いての日頃の準備活動、ご協力に、感謝申し上げます。東日本区大会の成功に向けて、漏れなく準備を、詰めて行きたいと思っております。この他にも、重なってイベントがあります。その為にもメンバー各位の例会出席と、関連連絡に対するご対応を、宜しくお願い致します。

祝！山梨学院高校センバツ高校野球優勝

〈4月の誕生者〉 Happy Birthday!

<メン>	<メネット>
荻原 桂子 (4/1)	赤池 公子 (4/6) 浅川 久子 (4/29)

【会計報告】

2022年3月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
3月の合計	29,420	0	0	29,420
3月末迄累計	176,823	287,471	75,000	539,294
達成率	70.7%	287.5%	150.0%	134.8%

\* 3月のニコニコは全額「トルコ・シリア緊急支援募金」に寄附しています。

## 例会報告

書記 水越正高

### 例会報告

- 2023 年 3 月第一例会報告□
- 日時 2023 年 3 月 7 日 (火)
- 会場 山梨 YMCA グローバルコミュニティーセンター

2023 年 3 月 7 日 (火) の第 1 例会では、主に新入会員の入会式及びゲスト卓話を行いました。

例会の開始前に、執行部より飯田会長代理を今年度の正式な会長に任命し、活動を精力的に展開することが提案され、出席者の多数決によって承認されました。

入会式では、4 名の新しい会員が甲府 21 に加わることとなり、あずさ部からは部長と書記の両名が出席して、盛大に開催されました。

ゲスト卓話では、岡安茂祐様をお招きし、「千の風になって——“わだつみのこえ” 随感 (ずいかん)——」と題した話を中心に、戦時中に記載された青年の手記などから「わだつみの声」に関する話を甲府 21 メンバーにお伝えいただきました。

また、諸報告では、4 月に予定している「ベビーカーコンサート」に関する連絡や次回例会のお知らせ、シリア募金の寄付先などの情報が会員に伝達されたことを報告いたします。参加者数

32 名 【会場参加メンバー:25 名 メネット:3 名 ゲスト:3 名 zoom:1 名】

- 2023 年 3 月第二例会 兼 偲ぶ会□
- 日時 2023 年 3 月 18 日 (土) 14:00 ~
- 会場 山梨 YMCA グローバルコミュニティーセンター

3 月の第 2 例会は、相川・廣瀬両ワイズの追悼イベントとして開催されました。

偲ぶ会では、ご遺族の方々をはじめ、甲府 21 ワイズメンズクラブ、YMCA 関係者、遠方からの深い絆で結ばれた仲間が集まり、2 人の旅立ちに思いを馳せました。

鎮魂の歌では、新しい会員である杉田ワイズが仲間たちと共に素晴らしい歌声を披露してくれました。

会の中で 2 人の思い出話に花を咲かせ、献花をすることで大切な仲間たちとの時間を過ごすことができました。

諸報告では、次回例会についての議題が話し合われ、今後の甲府 21 の方針についても意見が交わされた会となりました。

## 卓話抄

岡安茂祐氏 2023 年 3 月 7 日例会卓話抄  
「千の風になって——“わだつみのこえ” 随感 (ずいかん)——

今年「学徒出陣」80 周年に当たります。アジア・太平洋戦争の末期、敗戦必至の戦況の下に徴兵猶予を解かれた大学生たち十数万人が、学窓から戦場へ動員されてから 80 年経ちます。戦没した学生たちの遺稿集『きけ わだつみのこえ』(第一集・第二集)は読み継がれて、彼らの体験と思想を生々しく伝え、同世代青年の境涯と生きた時代を伝承してきました。

青年たちの戦死を悼み、不再戦を希求する「不戦の誓い」は、戦後の時々刻々の危機意識の消長とともに忘却・想起されてきましたが、いまや自らの国の戦争の記憶が薄れるとともに、かつて戦争へと突き進んだ社会意識が表れています。——遠隔地ウクライナの戦況・戦災報道に日々接しながらも、東アジア・東南アジアの海域で、80 年前を彷彿させる軋轢への対処策として、憲法改正と自衛隊軍備増強を論ずる社会的雰囲気の出現です。

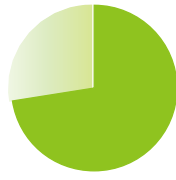
戦没学生たちの悲惨は、かの YMCA の青年リーダー宮崎龍夫に見られるように、彼らが学究において世界平和を願いつつ、現実の「国家」に縛られ、その概念枠を超える思想と行動に生きることが叶わなかったことでしょうか。——しかし、彼らは、“その墓にはいません。千の風になって、吹き渡っています。” その“風”を感得するのは私たち自身ではないでしょうか。「学徒出陣」80 周年は、アジア・太平洋戦争の日本人死者約 310 万人、交戦国・戦場地域の人々約 2,000 万人の“生と死”の記憶をも呼び覚ます機会とせねばなりません。

(了)

## 今後の予定

4 月 4 日	第 1 例会
4 月 8 ~ 9 日	第 3 役員会
4 月 18 日	第 2 例会 18 時半
4 月 22 日	ベビーカーコンサート 12 時半
5 月 9 日	第 1 例会 19 時
5 月 23 日	第 2 例会 18 時半
6 月 3 ~ 4 日	東日本区大会
6 月 6 日	第 1 例会 19 時
6 月 10 日	チャリティーラン
6 月 20 日	第 2 例会 18 時半

## 《3 月の出席者》

 <p>72%</p>	会員数	51 名
	例会出席者	37 名
	ゲスト参加者	4 名
	メネット	3 名
	総出席者数	44 名
	出席率	72%

## 本日の卓話 4/4

窪田 洋二 (くぼたようじ) 氏

山梨大学 クリーンエネルギー研究センター 特任教授

経歴

- 1980 山梨県企画部企画課他総括課長補佐他
- 1992 (株)三和総合研究所研究開発第 1 部研究員
- 1998 (財)山梨総合研究所主任研究員
- 2009 山梨大学産学官連携・研究推進機構教授・部長
- 2014 山梨大学クリーンエネルギー研究センター 特任教授

研究分野

環境政策・環境社会システムクリーンエネルギー

研究キーワード

分散型エネルギー、マイクログリッド、環境価値取引、スマートコミュニティ、バイオマス

## 東日本区大会



①東日本区パンフレット ②名札イメージ③アピオ甲府④プログラム



6月3日、4日の東日本区大会に向けては、昨年からの準備が進められていますが、いよいよ、実際の運営についてワーキングチームがスタートしました。プログラムに沿って、司会は誰が行うか、会場案内は、受付は。そして甲府 21 ワイズメンズクラブだけではなく、山梨県下の「甲府クラブ」「甲府やまなみクラブ」「富士五湖クラブ」にも協力を要請し、一緒になって盛り上げていこう、ということです。この 4 月、荻野実行委員長は、県内クラブの例会にお邪魔して協力要請方々ご案内の行脚をしています。ブリテン委員会では、当日配布するプログラムの作成、吊り下げ名札の作成の協力を行っています。久々にリアルで行われるということで、その手順をしっかりと振り返りながら、皆様のご協力をよろしくお願い致します。(野々垣 K)

## ◆YMCA 便り◆

「山梨から発信～80歳からの100歳までワイズ～」

総主事 中田 純子

私には、横浜で一人暮らしをする 70 代後半の母がおります。母は父を 10 年前に亡くし、ご近所の友人から障がい者自立生活サポート支援を紹介され、ある女性をサポートしてきました。しかし今年度、自分の年齢を考え、母からサポーター終了を申し出たようです。しかし、ご利用者様、ご家族様から辞めないでほしいとの申し出があり継続することになったと娘の私に伝えて来ました。娘の私から見ると、人を支えながら母が支えてもらった 10 年なのであろうと想像し、人を支える事で心身の健康維持に繋がっているのだと実感しました。人は人を支える事で自分自身が保たれ、生かされている自分に気が付くのだと母を見てそう思いました。

人を支える事といえば、ワイズメンズクラブそのものです。YMCA を支えてくださっている方々は 80 歳を迎えようとしている方、80 歳を超える方々がおります。皆さんお元気で 80 歳とは思えない程です。人は人と支え合うことで喜び、感謝し生きていくことを楽しみに変えるのだと、皆さんを見ていて気づかされます。

長寿社会のこれからの未来に山梨 YMCA に属するワイズメンズクラブの皆様から「80 歳からの 100 歳までワイズ」をぜひ発信して頂きたいと思えます。そして YMCA とワイズメンズクラブが支え合うことで人とつながり・みんながよくなっていき、居場所が見つかる。そしてまた、人を支えることとなります。お互いがお互いの人生に寄り添えることが出来る事に感謝いたします。これからもより良き関係でいられますように祈りを捧げたいと思えます。

## ペンリレー

今月号のペンリレーはお休み致します。

4 月といえば、新入学のシーズン。新しいランドセルの新入生を見掛けることが多くなります。さて、4 月に入学式を迎えるのは、世界的には珍しいことのように。アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、フランス、イタリア、ベルギー、ロシア、中国などは 9 月。ドイツは 8 月、韓国は 3 月、タイは 5 月ということです。



〈ブリテン委員長 野々垣 K〉



# 花のある風景



身延山久遠寺 20230322 枝垂れ桜 寺田喜長



満開の桜と東京塔  
撮影日：2023.03.20  
撮影場所：芝増上寺 撮影者：野々垣和宏

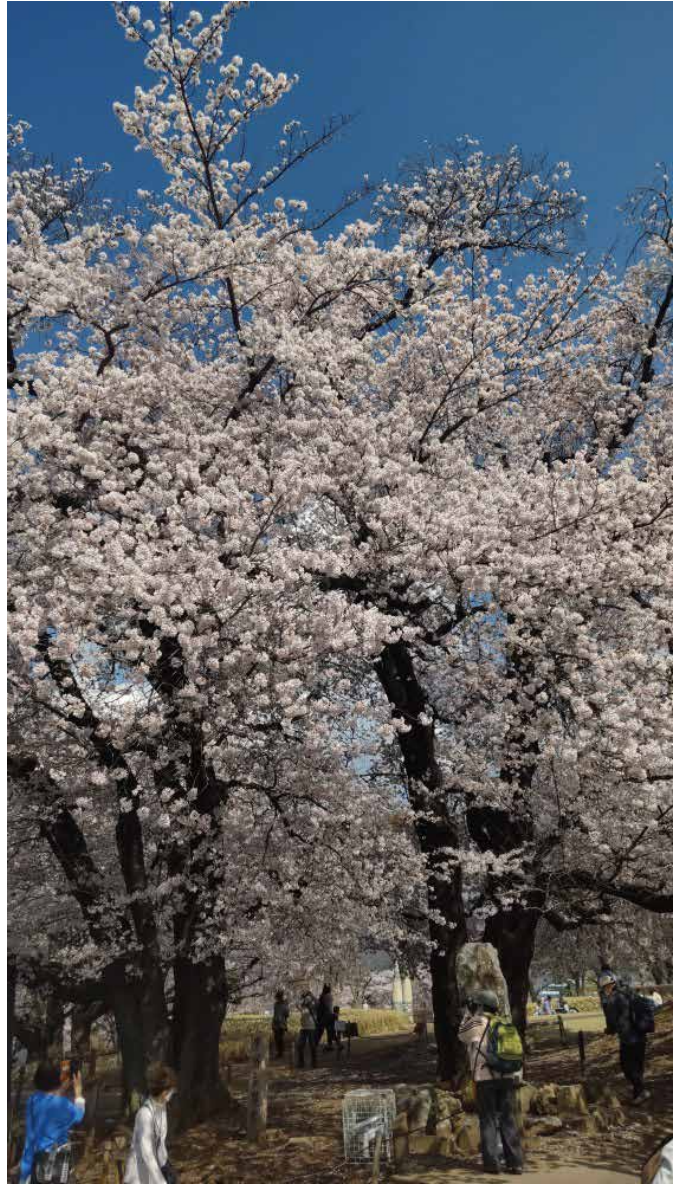


雨上がりの夜桜  
撮影日：令和 5 年 3 月 25 日 撮影場所：八代ふるさと公園 撮影者：山口 了





甲州市慈雲寺の枝垂れ桜 寺田喜長



笛吹市ふれあい公園蚕影の桜（こがけのさくら）寺田喜長



撮影日：2022.04.03 北杜市長坂町中島（清春 CC の近く） 撮影者：小澤 公紀





2023.3.24 韮崎市中田町にて 小澤公紀



2023.03.21 松戸市近所の畑にて 山本俊吉



2023.03.24 四ッ谷 YMCA 近くミモザ 山本俊一

今年の「花のある風景」写真が集まりました。急な呼びかけにもかかわらず多数のお写真を頂戴しましたこと  
まずもって厚く御礼申し上げます。有り難うございました。小林一茶の詩歌に、「桜咲く大日本ぞ日本ぞ（さ  
くらさくだいにつぼんぞにつぼんぞ）」という句があります。ずいぶんと大きく出ました。そんなことを言っ  
てみたくなりますね。私は東京芝・大門で働いていますが、一茶の句をもう一つ。  
「夜桜や 大門出れば 翌の事（よざくらやだいもんでればあすのこと）」  
飲み会の後、みんなと別れて一人電車に乗る気持ち。笑顔が急に真顔になったりして。 (野々垣和宏)